

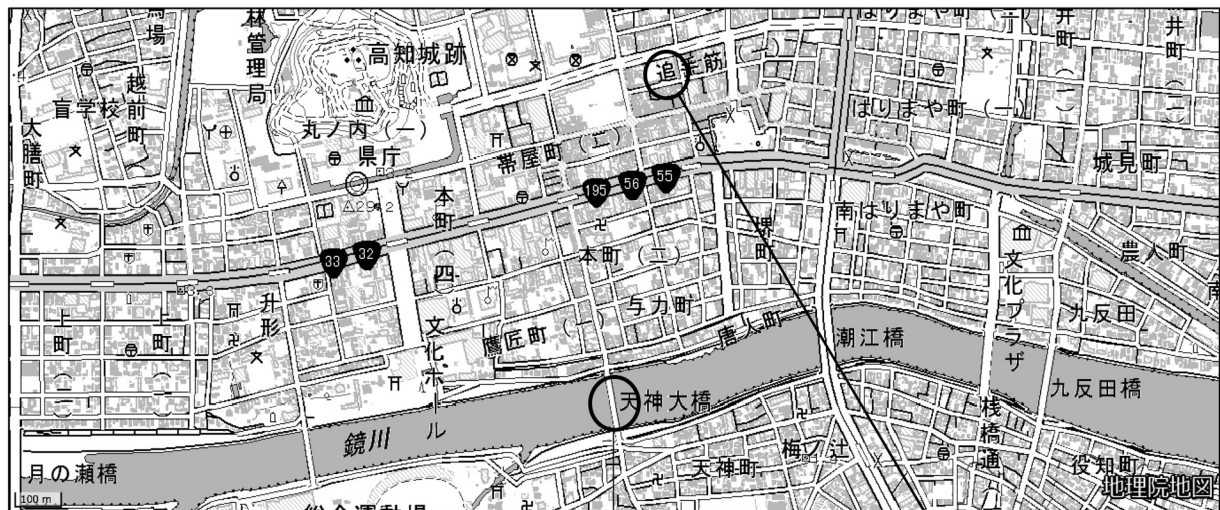


上左 橋の欄干 上右 川沿いの土手・左の樹木が楠
下 鏡川南土手から天神橋・楠（右の樹木）

そのクスノキについて『わがまち百景-21世紀に伝えたい高知市の風景-』（財団法人高知市文化振興事業団編・1990年）に「天神大橋とクスノキ」と題した安藤禎彦さんの次の文章がある。「今や苔むした大樹は、神木となって千年の時の流れを生きてきた。もし語ることができるなら、さまざまな激動の歴史を物語るにちがいない。草を枕とした俳人や、土佐の偉人たちがこの木を見上げ、過ぎ行く時代の過客となって通りすぎたであろう」。

街並みこそ大きく変わったが、この日寅彦の見た楠や鏡川の流れは今も変わらずここにある。

【寅彦の見た風景マップ】



【天神橋・楠編】

【楠病院編】

※地理院地図（電子国土 Web）（<https://maps.gsi.go.jp>）をもとに作成